

# 第9期忠類地域住民会議 審議經過報告

令和6年2月

## I 忠類地域住民会議の審議経過（第9期）

年月日	会 議	議事
令和4年4月25日	第1回忠類地域住民会議	忠類地域住民会議の趣旨及び設置条例の説明 委員長の互選について 副委員長の互選並びに委員長の職務を代理する副委員長の順位の指定について 令和4年度忠類総合支所の事業等について
令和4年8月22日	第2回忠類地域住民会議	ナウマン公園キャンプ場の有料化について
令和4年11月4日	第3回忠類地域住民会議	忠類地域読本について（報告） 忠類地域振興にかかる提言進捗状況について（報告） キャンプ場の有料化に伴う課題について
令和5年2月21日	第4回忠類地域住民会議	忠類地域読本の作成について（報告） 忠類診療所の医師の退任について（報告） 部活動の地域移行について 今後の議論のテーマについて
令和5年7月13日	第5回忠類地域住民会議	令和5年度忠類総合支所の事業等について グランドデザインについて
令和5年8月23日	第6回忠類地域住民会議	グランドデザインについて
令和5年9月27日	第7回忠類地域住民会議	グランドデザインについて
令和5年10月25日	第8回忠類地域住民会議	忠類診療所の指定管理について（報告） グランドデザインについて 幕別中学校を活用した義務教育学校の設置にかかる方針について
令和5年12月20日	第9回忠類地域住民会議	幕別町地域公共交通計画の策定に関するアンケート結果について（報告） グランドデザインについて
令和6年1月24日	第10回忠類地域住民会議	忠類地域振興にかかる提言進捗状況について（報告） 第9期忠類住民会議の審議経過報告（案）について

## ■忠類地域読本「TAKE PRIDE～ふるさと忠類の現在・過去・未来～」の発刊

平成18年2月に合併して間もなく18年が経過し、忠類地域住民会議は第9期目を終えようとしています。

第9期忠類地域住民会議では、第8期の令和3年度から第9期の令和4年度にかけて「忠類地域読本」を編纂しました。編纂のきっかけは、地域の歴史や伝統についての理解を深める「地域学」は、郷土愛の醸成にも影響を与えるものであり、これを学ぶことにより、就学等で一旦地域から離れた場合においても、将来、Uターンで戻り定住に結び付くことや、地域外においても郷土の魅力発信の一翼を担うことも期待できることから第6期及び第7期忠類地域住民会議において「地域学の取組に対する理解と支援」を提言したことでした。

その後、令和3年6月に住民会議委員6人で構成する「忠類地域読本編集委員会」を組織し、同年7月から令和4年8月まで10回（第8期に第1～6回、第9期に第7～10回）の編集委員会を開催し、住民会議本体と連携を図りながら地域住民が改めて郷土愛を認識し、地域づくりに関わるができるような忠類地域読本「TAKE PRIDE～ふるさと忠類の現在・過去・未来～」を令和5年6月に発刊しました。読本の成果品は冊子のほか、電子データでも作成しており、地域おこし協力隊が忠類地域の情報発信等において、また小中学校では道徳や総合学習の授業における参考資料として活用されており、忠類地域の振興及び歴史や伝統の理解促進に成果を上げています。

## ■忠類地域の「グランドデザイン」に関する継続議論

忠類地域の魅力をまとめた地域読本を編纂したことにより、忠類地域の歴史や現状等を再認識する機会となりましたが、これを機にこの現状を踏まえて今後忠類地域がどのような「まちづくり」を目指していくべきかを、グランドデザインとしてまとめあげる必要があると考え、後半の令和5年度には「忠類地域のグランドデザイン」について議論を重ねて来ました。

忠類地域の人口は、合併時の1,800人台から現在1,300人台と減少しており、この間、高齢者や単身世帯が非常に多くなってきた現状があることから、公共施設や公共

サービス等を集約し、今まで以上に機能が充実したコンパクトな地域づくりを考えていかなければなりません。

また、観光の面においては、多くの人々に来てもらうために、人を集めるという数量的なことではなく、興味関心を持っている人々に、より感動や安らぎを与えるような、質的な取組を進めていく必要があります。私たち住民の暮らしぶりが、「忠類は良い所だ」という地域イメージに繋がっていくような地域づくりが必要です。

第9期における住民会議委員からは、忠類地域の今後の目指すべき将来像として、次のとおり教育、施設、観光、交通の各分野に関する意見が出されたところであります。

#### 【教育】

- ・小中一貫教育や義務教育学校の設置による学校の統合
- ・地域教育の充実
- ・子どもたちのコミュニティを広げる場としての福寿の活用

#### 【施設】

- ・学校の統合等による空き施設の利活用
- ・老朽化施設の統合と施設の機能強化
- ・町外通勤者の移住を狙った高規格道路付近への団地造成

#### 【観光】

- ・アウトドア用品を取り扱う企業の誘致やキッチンカーイベントの実施による誘客や賑わいの創出
- ・収穫、搾乳の体験型事業実施
- ・遊歩道の観光資源としての活用

#### 【交通】

- ・幕別町地域公共交通計画策定に関するアンケート調査結果に伴う、忠類地域住民の買い物や通院等の実態及び今後必要とされる施策

これらのグランドデザインに関する意見は、第10期忠類地域住民会議においても継続議論と精査を行い、コンパクトな地域づくりを基本として次期提言にまとめ上げていくこととしました。

## II 忠類地域住民会議委員名簿

### 忠類地域住民会議

委員長 森 徹

副委員長 赤石 裕元

五十嵐 克幸

委員	邊見 秀明	長谷川 旭	山崎 和夫	稲田 和博
	菅原 政成	井田 寿美恵	邊見 敏夫	武内 悠紀夫
	鈴木 亜希子	鳥毛 浄生	野坂 ひとみ	黒坂 瑞枝

